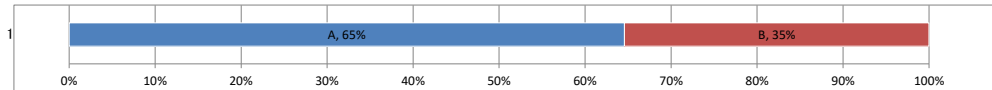


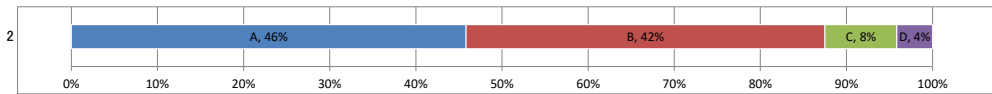
令和6年度 学校自己評価アンケート結果（保護者）

A:大いにそう思う B:だいたいそう思う C:ふつう D:あまりそう思わない E:まったくそう思わない

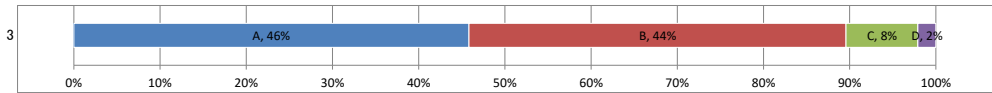
1 保護者と学校とで作成した個別の指導計画は、お子さんの課題に応じた指導に生かされていた。



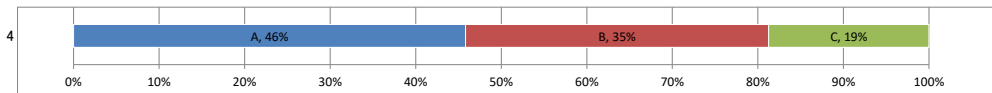
2 お子さんはその場に応じたことを考え、選び、新しいことばを使おうとしていた。



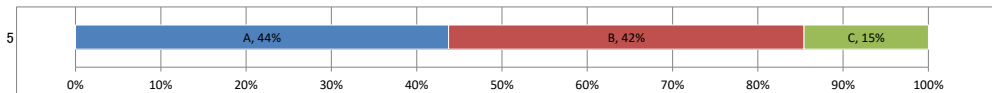
3 お子さんは、周囲との関わりの中で、自分のやりたいことや思いを適切に伝えようとしていた。



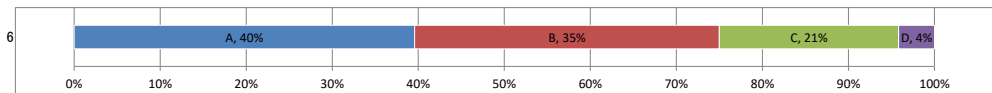
4 お子さんは学校で学んだことから関心を広げ、様々な場で生かそうとしていた。



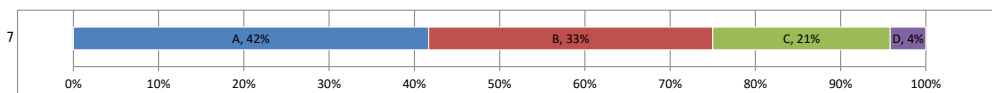
5 お子さんは、授業で、「分かった」「できた」といった喜びを味わったり、分からないことは質問したりして、意欲的に学習に取り組んでいた。



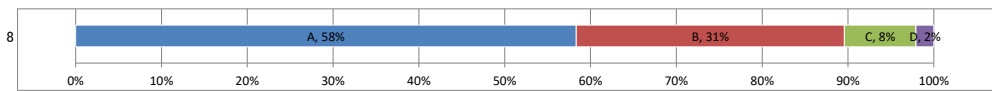
6 お子さんは身の周りのことに関心をもち、整理整頓や学習の準備など自分なりに自分で行っていた。



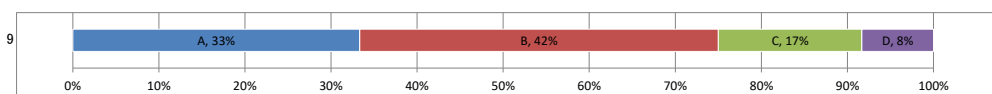
7 お子さんは、自分のきこえについて理解し、必要な情報を自分で集めたり、困ったときにはどうしたらよいか考えたりしていた。



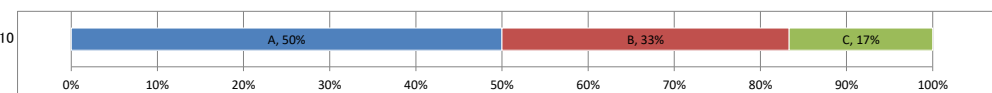
8 お子さんは元気に学校の活動に参加し、楽しく登校していた。



9 お子さんは目標をもって苦手なことに取り組んだり、頑張ることに喜びを感じたりしていた。



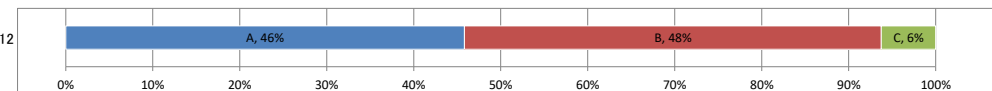
10 お子さんは集団を意識し、仲間と楽しく活動に取り組もうとしていた。



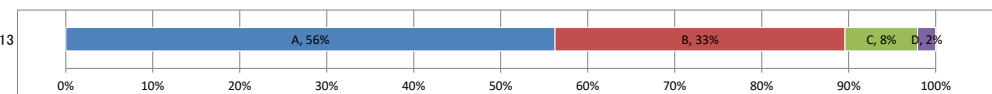
11 お子さんは地域や全校の交流など、様々な人とのつながりを経験していた。



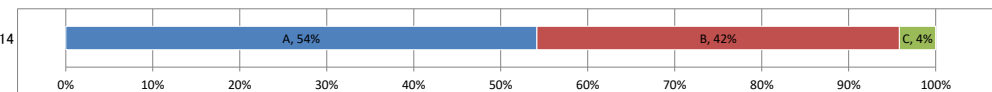
12 校内の個々のニーズに応じた相談や支援会議の設定、関連諸機関（福祉、医療などを含む）との連携など適切に行われていた。



13 職員は、聴覚障がい教育の専門性を基盤に、どの子も「分かった」「できた」などと実感できる授業を行っていた。



14 職員は、学校の設備や教材（ICTなど）を有効に利用して教育活動に取り組んでいた。



15 職員は、部間（幼小中高舎）で連携し、必要な支援を共有しながら取り組んでいた。

